

D-dimer screening for deep venous thrombosis in traumatic cervical spinal injuries

益田, 宗彰

<https://hdl.handle.net/2324/1932002>

出版情報：九州大学, 2017, 博士（医学）, 論文博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2）

氏 名：益田 宗彰

論文題名：**D-dimer screening for deep venous thrombosis in traumatic cervical spinal injuries**

(外傷性頸椎頸髄損傷患者における深部静脈血栓症に対する D-ダイマーを用いたスクリーニング)

区 分：乙

論 文 内 容 の 要 旨

急性期頸椎頸髄損傷患者の深部静脈血栓症（以下DVT）の補助診断ツールとしてのD-ダイマーの検査時期、至適閾値の設定を目的として前向き研究を行った。2007年4月1日以降、2012年12月までの期間、受傷後14日以内に当センターへ搬入された、外傷性頸椎頸髄損傷患者を対象とした。当センターの前向きプロトコールとして、入院時、入院（受傷）後2週、4週の時点で計3回下肢静脈エコーを行い、D-ダイマーは入院後4週目まで毎週測定した。対象患者は計268名（男性223:女性45）であり、DVT陽性は22名（10.4%）で、すべて受傷後2～4週の間に見出された。多変量ロジスティック解析により、DVT陽性の優位な危険因子として受傷後2週目のD-ダイマー $16\mu\text{g/dl}$ で感度77.3%、特異度69.2%となった。この検査をスクリーニングとして追加検査の指標とすることが可能となった。